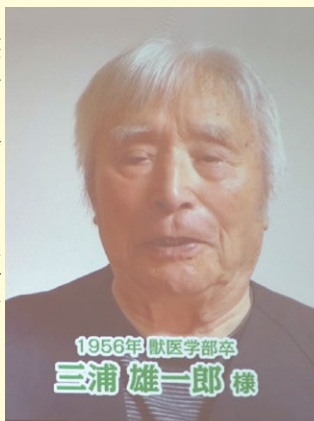
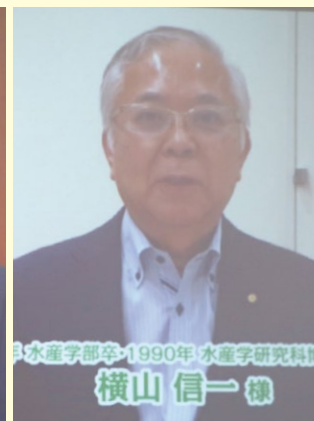




1956年 獣医学部卒
三浦 雄一郎 様



1979年 法学部卒
秋元 克広 様



水産学部卒・1990年 水産学研究科博
横山 信一 様



1994年 経済学部卒
長谷川 岳 様



2013年 教育学院修士課程修了
菅井 貴子 様



実行委員会代表の越智文雄氏



▲右上から時計回りにマンドリニスティコ「アウロラ」、剣道部、ジャズ研究会、北海道大学混声合唱団、人力飛行機の活動・演奏発表

同窓会 北大「150周年」記念 ジンギスカンパーティー

の一人だ。埼玉県立浦和第一女子高校から北大農学部に入り、農林水産省に入省。母の実家は旭川市で農業を営んでいた。結婚を機に夫の実家の山形県に移り住み、そこから国政に出て、現在3期目「150周年記念事業の合言葉は『光は、北から』で、まさに北の大地から日本を照らす大きな役割を果たしているのが北海道大学だと確信している。単なる詰め込みの教育ではなく、自由な発想で、いろいろな実学を経験できるのが北大の良さ」と語った。

経済学部卒の札幌市議会議員、波田大専氏は、卒業後はホクレンに入り、スマート農業を推進する仕事を担っていた。「GX、エネルギー分野も含めて北海道大学が果たす役割は大きい。副首都構想も含め20年、30年後を見据えると北海道の時代、北海道大学の時代がやって来る」と強調した。

100人近い学生たちも演奏や様々な出し物で会場を盛り上げ、イベントに華を添えた。フィナーレは剣道部の威勢のよい掛け声で全員で肩を組み「都ぞ弥生」を合唱。会場全体が一つになって締めくくられ、よし来年も151周年で集まろうと氣勢が上がっていた。

北海道大学の創基150周年を記念して、同窓会有志によるジンギスカンパーティーが9月27日、サッポロビール園ポプラ館で行われた。越智文雄あかりみらい社長が代表を務める北大150年を言祝ぐジンパ実行委員会が主催した。

「北大といえばジンパ、ジンパといえば北大」と言われるほど伝統的な親睦交流会として根づいている。「全学部横断で、OBも現役学生も一緒に皆で楽しもう」という趣旨だ。

前日に行われた記念式典と記念祝賀会に続いて参加した卒業生も多かった。国民民主党の参議院議員・舟山康江氏もそ



▲波田大専札幌市議会議員



▲舟山康江参議院議員